

ニンジン*1 (野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用 機 構 分 類 コ ー ド	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	斑 点 病	黒 葉 枯 病	菌 核 病	う ど ん こ 病	し み 腐 病	根 腐 病	(リ ゾ ク ト ニ ア 菌)	苗 立 枯 病	斑 点 細 菌 病	軟 腐 病
I C ボルドー66DFL	無機	M1		-	-		◎								
Z ボルドー水	無機	M1		-	-		◎								
クプロシールドFL	無機	M1		-	-	◎	◎								
コサイド3000DF	無機	M1		-	-		◎								
トリフミン水	DMI	3		1	3				◎						
ストロビーFL	Q o I	11		7	3	◎	◎								
ファンタジスタ顆水	Q o I	11		3	3	◎	◎	◎	◎						
メジャーFL	Q o I	11		3	3		◎								
アフエツトFL	アミド	7		7	3		◎								
カンタスDF	アミド	7		14	3	◎	◎								
ポリオキシシンAL水	抗生物質	19		7	5		◎								
スミレックス水	ジカホ [®] キイミド [®]	2		30	1			◎							
ロブラール水	ジカホ [®] キイミド [®]	2		14	4	◎	◎								
キノンドーFL	有機銅	M1		3	5		◎								
ヨネボン水	有機銅	M1		7	4	◎	◎		◎						
アリエッティ水	有機リン	P7		7	3		◎								
リゾレックス水	有機リン	14		*b 14	1						灌	灌			
リゾレックス粉	有機リン	14		*a	1						◎				
スターナ水	他	31		7	3									◎	◎
セイビアーFL20	他	12		7	3			◎							
ダコニール1000FL	他	M5		7	5		◎								
フロンサイド水	他	29		14	3		◎								
ベルコートFL	他	M7		14	5	◎	◎	◎	◎						
シグナムWDG	Q o I・アミド	11・7		14	2	◎	◎		◎						
ユニフォーム粒	Q o I・アミド	11・4		*a	1					◎	◎				
アミスターオブティFL	Q o I・他	11・M5		21	2	◎	◎	◎	◎	◎					
カスミンボルドー水	抗生物質・無機	24・M1		14	2		◎							◎	◎
ポリベリン水	他・抗生物質	M7・19		14	5	◎	◎								

*1:根を収穫するもの

葉を収穫利用する場合には、「ニンジン」の登録農薬は使用できない。
「野菜類」、「ニンジン(葉)」で登録のある剤を使用する。

*a:播種前 *b:播種時

灌:全面土壌灌注

ニンジン*1(野菜類の登録農薬も使用できる)

ニンジン

薬剤名	系統区分	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	使用回数	アブラムシ類	ハモグリバエ類	クロバネキノコバエ類	キアゲハ	ヨトウムシ	ハスモンヨトウ	ネキリムシ類	ゾウムシ類	ネコブセンチュウ	ネグサレセンチュウ
スピノエース顆水	スピノシン	5		3	3	◎									
カスケード乳	I GR	15		3	2		◎		◎						
ロムダンFL	I GR	18		1	2				◎						
ビーラム粒	アミド			*a	1									◎	◎
バイデートL粒	カーバメート	1A	劇	*a	1									◎	◎
ネマキック粒	殺線虫	1B		*a	1									◎	◎
ネマトリンエース粒	殺線虫	1B		*a	1									◎	◎
フェニックス顆水	ジアミド	28		1	2					◎					
ベネビアOD	ジアミド	28		1	3	◎			◎	◎	◎				
ディアナSC	スピノシン	5		1	2						◎				
アドマイヤー顆水	ネオニコチノイド	4A	劇	3	2	◎									
アルバリン顆溶	ネオニコチノイド	4A		7	2	◎									
スタークル顆溶	ネオニコチノイド	4A		*e	1		◎						ト		
アルバリン顆溶	ネオニコチノイド	4A		*c	1		◎								
アルバリン顆溶	ネオニコチノイド	4A	劇	1	3	◎			◎						
アグロスリン乳	ピレスロイド	3A	劇	7	2					◎					
ガードベイトA粒	ピレスロイド	3A		*b	5							◎			
フォース粒	ピレスロイド	3A	劇	*c	1							◎			
フォース粒	ピレスロイド	3A		*a	1		◎					◎			
パイオフME液	ピレスロイド	3A	劇	14	1					◎					
アフーム乳	マクロライド	6		1	3		◎								
ダイアジノン粒5	有機リン	1B		*a	1							◎			
ダイアジノン粒10	有機リン	1B	劇	*f	2							◎			
ネキリエースK粒	有機リン	1B		*d	4							◎			
マラソン乳	有機リン	1B	4	◎	14	4	◎						ヤ		
アクセルFL	他	22B		1	3						◎			ヒ	
アクセルベイト粒	他	22B		1	3						◎	◎			
コテツFL	他	13	劇	1	2				◎	◎				ヒ	
プレオFL	他	UN		1	2						◎				
ランダイヤ粒	カーバメート・有機リン	1A・1B	劇	*a	1		◎					◎			

*1:根を収穫するもの

葉を収穫利用する場合には、「ニンジン」の登録農薬は使用できない。

「野菜類」、「ニンジン(葉)」で登録のある剤を使用する。

*a:播種前 *b:生育初期(但し収穫7日前まで) *c:播種時

*d:発芽期～生育初期(但し収穫14日前まで) *e:生育期(但し収穫21日前まで)

*f:播種時及び生育期(但し収穫90日前まで)

ト:トビイロヒョウタンゾウムシに生育期の株元灌注処理での登録

ヒ:ヒョウタンゾウムシ類 ヤ:ヤサイゾウムシ

ニンジン(野菜類の登録農薬も使用できる)

主要病虫害発生消長	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
病 害	春まき						—					
	黒葉枯病				—	—	—					
	うどんこ病					—	—					
	夏まき										—	—
虫 害	黒葉枯病					—	—			—	—	
	うどんこ病					—	—			—	—	
	アブラムシ類					—	—			—	—	
	キアゲハ ヨトウムシ					—	—			—	—	

病虫害名	防除時期	防除方法	参考事項
黒葉枯病	生育期	<ol style="list-style-type: none"> 敷わらをするか又は灌水を行って乾燥を防ぐ。 肥料切れすると発生しやすいので追肥は遅れないようにする。 発生が認められたら次の薬剤のいずれかを散布する。 カスミンボルドー(水) 1000倍 ダコニール1000(FL) 1000倍 ポリオキシシンAL水和剤 500倍 ポリバリン水和剤 1500～2000倍 ロブラール水和剤 1000～1500倍 	干ばつ、肥切れは発病を助長する。 ニンジンには本病と同属異種の菌による「黒斑病」も発生する。黒斑病は、主に根や苗に発生する。種子では不発芽、幼苗期には立枯れを、生育期には根、葉、花梗、花などをおかし、さらに貯蔵中には根の腐敗をおこす。
	収穫期	・収穫の際には根に傷をつけないように注意して掘りとる。	
	収穫後	・収穫後畑に残った枯葉や被害株は除去する。	
斑点病	生育期	<ol style="list-style-type: none"> 敷わらをするか又は灌水を行って乾燥を防ぐ。 肥料切れすると発生しやすいので追肥は遅れないようにする。 発生が認められたら次の薬剤のいずれかを散布する。 ストロビーフロアブル 3000倍 ロブラール水和剤 1000～1500倍 	干ばつ、肥切れは発病を助長する。
軟腐病	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 スターナ水和剤 1000倍 カスミンボルドー(水) 1000倍	
紫紋羽病	播種前	・土壌消毒を行う(土壌消毒の項参照)。	本病は多犯性で各種野菜や果樹に発生する。

ニンジン(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
アブラムシ類	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アドマイヤー顆粒水和剤 10000倍 マラソン乳剤 2000～3000倍	
ハモグリバエ類	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 スピノエース顆粒水和剤 5000倍	
キアゲハ	生育期	1. 老齢幼虫は捕殺する。 2. 発生が多いときは次の薬剤を散布する。 マラソン乳剤 2000～3000倍	
ヨトウムシ	生育期 (5～6月、 9～11月)	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アグロスリン乳剤 2000倍 エコマスターBT* 1000倍 エスマルクDF* 1000倍 カスケード乳剤 4000倍	老熟幼虫は薬剤が効きにくいので、早期に防除する。 *野菜類での登録
ハスモンヨトウ	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 エコマスターBT* 1000倍 サブリーナフロアブル* 500～750倍 1000倍 ブレオフロアブル	*野菜類での登録
ネコブセンチュウ	播種前	1. 作付予定地は土壤消毒する(土壤消毒の項参照)。 2. 土壤くん蒸剤以外には次の薬剤があるので、いずれかを全面土壤混和する。 ネマトリンエース粒剤 15～20kg/10 a バイデートL粒剤 20～50kg/10 a	
ネグサレセンチュウ	播種前	1. 作付予定地は土壤消毒する(土壤消毒の項参照)。 2. 土壤くん蒸剤以外には次の薬剤があるので、いずれかを全面土壤混和する。 ネマキック粒剤 10～15kg/10 a ネマトリンエース粒剤 20kg/10 a バイデートL粒剤 20～50kg/10 a	